

2022年

北海道地方

12月の天候

2023年1月5日
札幌管区気象台 気象防災部
地球環境・海洋課

概況

— 冬型の気圧配置と低気圧の影響で多雨。下旬は記録的高温。 —

12月は、上旬と中旬は冬型の気圧配置となる日が多かったため日本海側、下旬は低気圧や気圧の谷の影響によりオホーツク海側と太平洋側で、雪や雨の降った日が多かった。このため、北海道地方の月降水量は多かった。また、下旬は低気圧に向かって暖かい空気が流れ込む時期があったため、気温はかなり高かった。

北海道地方：月平均気温は平年並、月降水量は多く、月間日照時間は平年並、月降雪量は平年並だった。

日本海側：月平均気温は平年並、月降水量は平年並、月間日照時間は平年並、月降雪量は平年並だった。

オホーツク海側：月平均気温は平年並、月降水量は多く、月間日照時間は少なく、月降雪量は平年並だった。

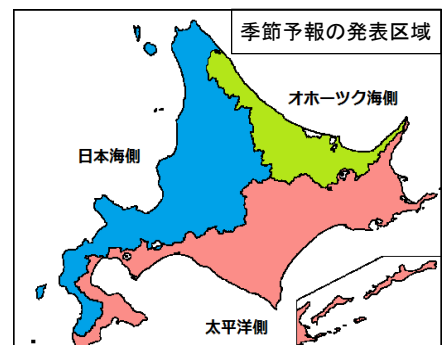
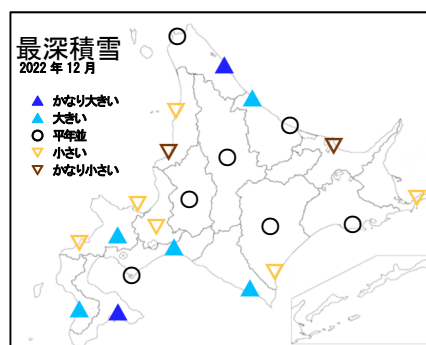
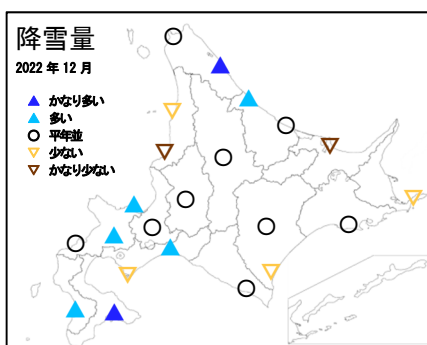
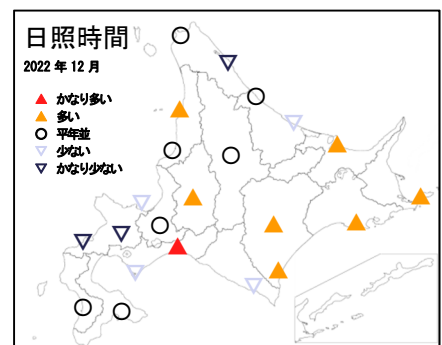
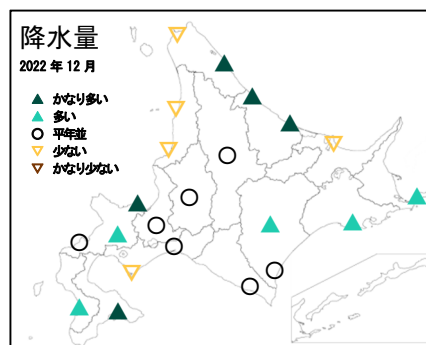
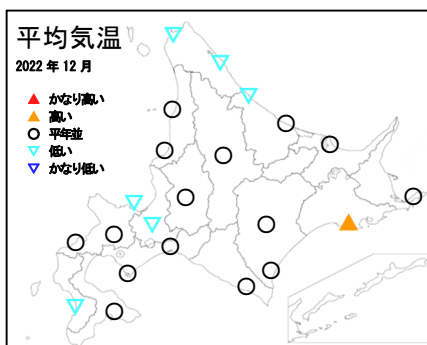
太平洋側：月平均気温は平年並、月降水量は多く、月間日照時間は平年並、月降雪量は平年並だった。

上旬：冬型の気圧配置や低気圧の影響で日本海側では雪の降った日が多かったが、オホーツク海側と太平洋側では晴れた日が多かった。寒気の影響を受けやすかったため、気温は低かった。

中旬：冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪の降った日が多かった。寒気の影響を受けやすかったため、気温は低かった。

下旬：低気圧や気圧の谷の影響で雪や雨の降った日が多く、オホーツク海側と太平洋側では降水量がかなり多かった。特に22日から25日にかけては発達した低気圧の影響で大荒れの天気となり、観測史上1位を更新するような記録的な大雪となった所もあった(23日に白滝で日降雪量71cmなど)。また、低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込んだため、気温はかなり高かった。旬平均気温の平年差は、1946年の統計開始以降、北海道地方、日本海側、オホーツク海側で高い方から第2位となった。

階級分布図



月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-0.1	0	112	+	96	0	98	0
日本海側	-0.2	0	100	0	92	0	98	0
オホーツク海側	-0.2	0	139	+	93	-	108	0
太平洋側	0.0	0	115	+	104	0	93	0

旬の統計値(地域平均)

上旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-1.5	-	65	-	98	0	90	0
日本海側	-1.6	-	94	0	75	0	132	+
オホーツク海側	-1.7	-	55	-	118	+	102	0
太平洋側	-1.3	-	34	-	118	+	31	-

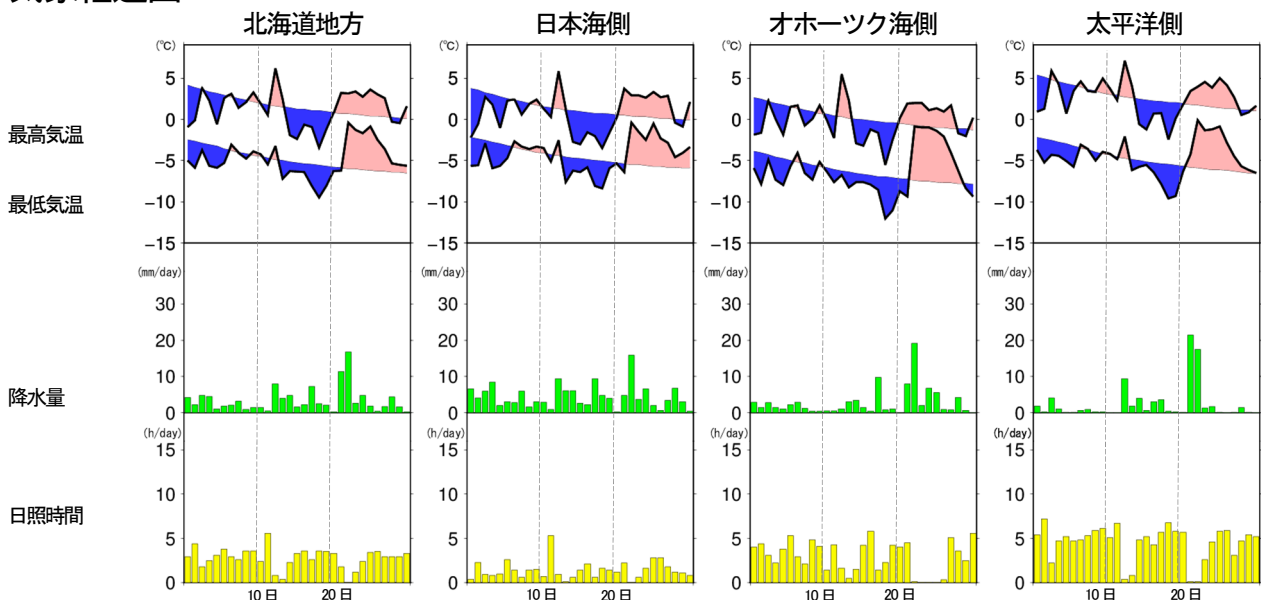
中旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-1.4	-	107	+	96	0	118	+
日本海側	-1.6	-	105	0	96	0	119	0
オホーツク海側	-1.7	-	93	0	83	-	98	0
太平洋側	-1.1	-	115	0	104	0	127	0

下旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.4	++	152	+	95	0	84	0
日本海側	+2.5	++	98	0	104	0	56	--
オホーツク海側	+2.5	++	173	++	80	-	121	+
太平洋側	+2.2	++	215	++	90	-	101	0

注)・数値は、地域内の気象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991~2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991~2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

気象経過図



月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間			降雪量			最深積雪		
	本年 °C	平年差 °C	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級	本年 cm	平年値 cm	階級	本年 cm	平年値 cm	階級
札幌	-1.4	-0.5	-	119.0	104	0	81.1	98	0	103	113	0	35	47	-
稚内	-2.6	-0.5	-	86.0	76	-	24.7	87	0	105	122	0	28	39	0
北見枝幸	-3.6	-0.5	-	150.5	148	++	50.1	70	--	221	139	++	74	52	++
旭川	-3.7	+0.5	0	98.0	96	0	55.9	96	0	155	158	0	50	58	0
留萌	-1.3	+0.2	0	84.0	70	-	31.8	107	0	90	147	--	18	47	--
羽幌	-1.7	0.0	0	124.0	83	-	34.6	106	+	119	154	-	35	54	-
岩見沢	-2.8	-0.2	0	142.0	98	0	84.6	123	+	223	200	0	66	74	0
倶知安	-3.2	-0.1	0	281.5	129	+	22.6	58	--	289	253	+	118	99	+
小樽	-1.7	-0.6	-	192.0	126	++	54.4	92	-	168	142	+	36	54	-
寿都	-0.6	-0.3	0	123.0	89	0	14.8	56	--	105	108	0	19	32	-
網走	-2.2	+0.2	0	42.5	67	-	136.9	117	+	30	71	--	6	29	--
紋別	-2.7	-0.1	0	99.0	167	++	85.0	89	-	70	75	0	29	28	0
雄武	-3.7	-0.4	-	107.0	172	++	86.5	96	0	114	83	+	42	36	+
釧路	-1.1	+0.8	+	71.0	125	+	198.0	113	+	22	26	0	11	17	0
根室	-0.3	+0.2	0	76.0	129	+	172.5	114	+	14	28	-	7	15	-
帯広	-3.4	+0.4	0	86.5	165	+	193.5	113	+	53	51	0	42	36	0
広尾	-1.0	+0.3	0	90.0	98	0	162.7	109	+	39	60	-	25	35	-
室蘭	0.2	-0.3	0	44.5	68	-	56.0	79	-	16	27	-	9	9	0
苫小牧	-1.5	-0.3	0	53.0	94	0	152.0	119	++	37	29	+	23	14	+
浦河	-0.3	-0.4	0	59.0	100	0	98.0	87	-	21	28	0	14	10	+
函館	-0.6	-0.5	0	130.5	138	++	89.1	97	0	140	79	++	41	22	++
江差	1.3	-0.3	-	138.0	126	+	31.0	94	0	62	49	+	17	13	+

注) ・平年値は1991～2020年の30年間の平均値です。

- ・階級の++は平年よりかなり高い(多い、大きい)、+は平年より高い(多い、大きい)、0は平年並、-は平年より低い(少ない、小さい)、--は平年よりかなり低い(少ない、小さい)を示す。
- ・「) 」付きの値は欠測を含む。「] 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。
- ・「低い(少ない、小さい)」「平年並」「高い(多い、大きい)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない、小さい)」「かなり高い(多い、大きい)」と表現する。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
12月	月降水量(多い)	第3位	紋別	99.0 mm	167 %	153.0 mm (2012)	1956
	降雪の深さ月合計値(多い)	第3位	北見枝幸	221 cm	159 %	256 cm (1973)	1953
			雄武	114 cm	137 %	167 cm (2004)	1953

※データは速報値であり、後日変更される場合があります。

お問い合わせ先

札幌管区気象台 気象防災部 地球環境・海洋課
TEL (011) 611-6174